

地球環境と世界市民

EARTH ENVIRONMENT AND GLOBAL CITIZEN



アジア太平洋地球変動研究ネットワーク

国際シンポジウム

(「地球環境と世界市民」国際協会後援)

環境倫理にもとづいた環境教育の国際ガイドラインの構築に向けて
趣 旨

「環境倫理にもとづいた環境教育の国際ガイドラインの構築に向けて」をテーマに、地球変動研究に関する自然科学の知見のみならず、社会科学や人文科学などの統合的な「知」の観点から本シンポジウムを展開します。

環境教育の研究については、現在に至るまで体系化されないまま進められてきており、国際的なガイドラインが求められています。また、すべての学問領域に共通する“環境教育”は、各領域をつなぐ架け橋としても期待されていることから、本シンポジウムでは「環境倫理にもとづいた環境教育の国際ガイドラインの構築」をめざします。

そのために、アジア・環太平洋地域のネットワークを活用し、日本、マレーシア、タイ、インド、オーストラリア、アメリカ、カナダとの環境教育のパートナーシップを確立し、環境教育教材の共有化をねらいとします。

第一日目は、環境倫理にもとづいた環境教育について議論するため、アジア・環太平洋諸国から先駆的な研究者、実践家を招き、「環境教育の国際ガイドラインの構築」をめざして講演を行うとともに、その後のパネルディスカッション において情報・意見交換をします。

第二日目は、教材開発のプロセスやe-ラーニング(インターネット使用による遠隔授業)のデモンストレーションによるワークショップを開催します。教育関係者、研究者、NPO/NGO、行政関係者等の方々にもご参加いただき、環境教育の指導にあたってのスキルの向上を図ります。また、パネルディスカッション では、「アジア・環太平洋地域における環境教育教材の共有化」をめざして議論します。

第三日目は、研究者・専門家による国際研究会「環境倫理にもとづいた環境教育の国際比較研究」を行います。また二日間の成果をふまえ、環境教育の国際ガイドラインを具体的に各国で運用するために必要なアジア・環太平洋地域のネットワークの役割について検討します。第三日目は非公開ですが、ご興味がありましたら、オブザーバーとしてご参加いただくことは可能です。

多数の皆様のご参加をお待ちしています。

概 要

テーマ：環境倫理にもとづいた環境教育の国際ガイドラインの構築に向けて

会期及び会場：2006年1月28日（土）兵庫県立美術館ミュージアムホール

1月29日（日）甲南大学 5号館 5-22教室

1月30日（月）甲南大学 9号館第 5会議室

定 員：200人（各日とも）

使用言語：日本語／英語

参加費：無料（但し、会場の都合のため事前に所定の手続きによる申込みが必要）

主 催：アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（APNセンター）／兵庫県／
甲南大学環境総合研究所

後 援：環境省／兵庫県教育委員会／神戸市教育委員会／（財）地球環境戦略研究機
関（IGES）関西研究センター／（財）国際エメックスセンター／日本環境
教育学会関西支部／「地球環境と世界市民」国際協会／（財）ひょうご環
境創造協会

プログラム

[1日目：1月28日（土） 日本語・英語同時通訳]

10:00-10:30 開場／受付開始（兵庫県立近代美術館ミュージアムホール[神戸市中央区脇浜海岸通1丁目1番1号]）

10:30-10:50 開会挨拶 橋詰博樹（アジア太平洋地球変動研究ネットワーク・センター長）

来賓挨拶 兵庫県代表者

10:50-11:40 記念講演：「日本の博物館における環境教育の展開 博物館のガイドラインをめぐる」 中川志郎氏（日本／日本博物館協会会長）

11:40-12:30 基調講演：「宗教的倫理に根ざした環境教育の提案 多様な文化・宗教における共通の価値観による環境教育 - 」

Azizan Baharuddin 氏（マレーシア／マラヤ大学教授）

12:30-13:30 昼 食

13:30-14:20 基調講演：「日本における環境教育の展開と環境倫理による方向づけ」 谷口文章氏（甲南大学教授／甲南大学環境総合研究所 所長）

14:20-14:30 休 憩

14:30-16:00 パネルディスカッション：環境教育の国際ガイドラインの構築
スタンダードの共有化をめざして

コーディネーター：Azizan Baharuddin 氏（マレーシア／マラヤ大学教授）

パネリスト：「博物館における環境教育のスタンダード化 国際的視点から」 中川志郎氏（日本／ミュージアムパーク茨城県自然博物館 名誉館長）

「環境哲学にもとづいた環境教育のスタンダード化 ディープ・

エコロジーの視点からー」 Freya Mathews 氏（オーストラリア／ラトロヴ大学教授）

「生化学教育による環境教育のスタンダード化 “環境” と “生命” をめぐってー」 Jariya Boonjawat 氏（タイ／チュラロンコン大学準教授）

16:00-16:15 休 憩

16:15-17:00 パネルディスカッション（続）

17:00-17:15 総 括

[2日目：1月29日（日） 日本語・英語逐次通訳]

9:00-9:30 開場／受付開始（甲南大学 5号館 5-22 教室）

9:30-10:50 ワークショップ（A）：「カナダにおける海の環境教育教材の開発プロセス」

コーディネーター：Gloria Snively 氏（カナダ／ヴィクトリア大学教授）

10:50-11:00 休 憩

11:00-12:20 ワークショップ（B）：「遠隔情報システムを活用した環境教育のデモンストレーション e-ラーニングの展開」

コーディネーター：見上一幸氏（宮城教育大学教授・宮城教育大学附属小学校校長） 谷口文章氏（甲南大学環境総合研究所 所長）

12:20-12:30 昼 食

13:30-13:50 開会挨拶 橋詰博樹氏（アジア太平洋地球変動研究ネットワーク・センター長） 杉村芳美氏（甲南大学・学長）

13:50-14:30 基調報告：「カナダにおける環境教育ガイドラインと人材育成マニュアル」 Gloria Snively 氏（カナダ／ヴィクトリア大学教授）

14:30-15:20 パネルディスカッション：アジア・環太平洋地域における環境教育教材の共有化をめざして

コーディネーター：谷口文章氏（甲南大学環境総合研究所 所長）

パネリスト：「タイにおける環境教育教材 - 生命概念をめぐってー」 Jariya Boonjawat 氏（タイ／チュラロンコン大学準教授）

「オーストラリアにおける環境教育教材ー環境倫理を中心にー」 Freya Mathews 氏（オーストラリア／ラトロヴ大学教授）

15:20-15:30 休 憩

15:30-17:00 パネルディスカッション（続）

「インドにおける環境教育教材 防災教育を中心にー」 Rajib Shaw 氏（インド／京都大学助教授）

「タイにおける環境教育教材 持続可能な農業を中心にー」【TV会議システムにて中継】 Siriwat Soondarotok 氏（タイ／ラジャバト＝プラナコーン大学環境教育センター所長）

17:00-17:20 全体総括

17:20 閉 会

[3日目 : 1月30日(月) 英語のみ]

9:00-9:30 開場 / 受付開始 (甲南大学 9号館 第5会議室)

9:30-12:00 国際研究会「環境倫理にもとづいた環境教育の国際比較研究 ガイドラインの構築に向けて」

会場への交通アクセス

【1月28日(土)会場】

兵庫県立美術館

【1月29日(日)・30日(月)会場】

甲南大学



甲南大学周辺マップ



最寄駅からのアクセス : 阪神岩屋駅から 徒歩約 8 分

(兵庫県立美術館) JR 神戸線灘駅南口から 徒歩約 10 分

阪急電鉄神戸線王子公園西口から 徒歩約 20 分

最寄駅からのアクセス : JR 神戸線摂津本山駅北口から 徒歩約 10 分

(甲南大学) 阪急電鉄神戸線岡本駅南口から 徒歩約 10

参加申込方法

参加をご希望される方は参加申込書(氏名・フリガナ/所属先/連絡先住所・TEL・FAX・E-mail/参加予定日を記入したもの)を、次頁事務局宛てにファクシミリまたはE-mailにてお申込みください。【申込締切日:2006年1月20日(金)】ご記入いただきました情報は、APNセンターからの各種連絡・情報提供のために利用し、それ以外の目的では利用いたしません。

先着順に受付を致します。定員(約200名)になり次第、締め切らせていただきますので、予めご了承下さい。

定員超過によりご入場できない場合は、ご連絡致します。受講証の発行はございませんので、お申込みの上、当日ご来場下さい。

APN（アジア太平洋地球変動研究ネットワーク）とは
アジア太平洋地域において、地球温暖化問題をはじめ、地球環境の変化に伴う問題について研究し、その研究への途上国からの参加を促すことを主目的とする政府間ネットワークとして、1996年に設立されました。APNは、共同研究やトレーニング活動の支援、新たな研究プロジェクト形成のためのワークショップの開催等の活動を行っています。21ヶ国（2005年11月現在）の加盟国で構成されており、事務局機能の拠点として、神戸にAPNセンターが1999年8月に設置されて以来、地元密着型の普及啓発活動にも取り組んでいます。

問い合わせ先・参加申込先

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 IHDセンタービル 5階

アジア太平洋地球変動研究ネットワーク事務局 担当：後藤

TEL: 078-230-8017 FAX: 078-230-8018 Email: rgotou@apn-gcr.org

第5回国際保健医療行動科学会議

「健康と環境をめぐる教育 - 統合医療と環境教育 - 」のご案内

第5回国際会議大会実行委員長・「地球環境と世界市民」国際協会会長

谷口文章

この度、第5回国際保健医療行動科学会議を、2006年8月16日（水）～21日（月）に、タイ・バンコク市内において開催致します。今回は「健康と環境をめぐる教育 統合医療と環境教育」というテーマのもと、エクスカ-ジョン、研究発表・ポスター発表、記念講演、基調講演、シンポジウム、サテライト・シンポジウム、ワークショップ、オブショナルツアーを企画しております。

今日、科学技術の発達による自然や社会の急激な変化とともに、私たちの「健康と環境」の状況も大きく変化しつつあります。バイオテクノロジーの発達によって、現代人はクローン技術、ヒトゲノム解読や遺伝子治療、生殖革命、脳死、臓器移植、再生医療などの生命をめぐるさまざまな課題に直面しています。他方、地球環境問題においては、環境汚染状況がますます広汎化し深刻化しており、地球温暖化、酸性雨、森林伐採、砂漠化、稀少種の減少、生物多様性の減少などの課題があります。これらの課題を解決するためにはホーリズムと統合の視点から「いのちと環境をめぐる教育」が必要となります。

21世紀の「健康ないのちと健全な環境」を維持していくために、国際会議によるグローバルな視野より「統合医療と環境教育」について研究・討議を進め国際交流を深めたく存じます。

本会議のテーマは本学会で従来議論されてきた「ヘルスプロモーション」「QOL（クオリティ・オブ・ライフ）」「自己決定」「セルフケア」「医療倫理」「ターミナル・ケア」「グリーフケア」「健康」「全人的医療」「ナラティブ」のキーワードを踏まえたうえで、日本だけでなく国際的な視野から保健医療行動科学を学際的な視点から議論し発展させることを目指しています。

本会は1986年設立より現在までに4回の国際会議を主催してきました。ここで歴史的な変遷とともに振り返っておきますと、第1回国際保健医療行動科学会議「ヘルスケアにおける伝統と現代性 A Transcultural Discussion」(会期:1988年8月11~13日,会場:Hawaii / Pacific Beach Hotel, Honolulu) 第2回会議「21世紀のケアシステムを提言する “The Health Care Systems, How Should It Be in 21st Century?”」(会期:1991年9月27~29日,会場:東京/上智大学)、第3回会議「危機と行動-成長と連帯 Crisis Behavior toward Growth & Solidarity」(会期:1996年9月27~29日,会場:東京/上智大学) 第4回会議「『健康』のための統合的アプローチ Integrated Approaches to Health」(会期:2001年8月24~27日,神戸/甲南大学)といったテーマが取り上げられ、世界各国からの参加者たちによって保健医療関連分野からの行動科学研究・教育に関する討議が重ねられてきました。これまでの流れを踏まえながら、さらに保健医療分野における今日的なテーマを国際的にとりあげ、人文科学・社会科学・自然科学のそれぞれの分野から幅広い議論を展開したく予定しております。

持続可能な21世紀の未来の実現に向けた「健康と環境をめぐる教育」についての討議や会議内容を企画しております。多数の皆さまの御参加をお待ちしております。

第5回国際保健医療行動科学会議 開催要項(予定)

会議概要

- 1 メインテーマ:健康と環境をめぐる教育 - 統合医療と環境教育 -
- 2 会 期:2006年8月16日(水)~8月21日(月)
- 3 会 場:タイ・バンコク
- 4 使用言語:日本語・英語
- 5 主 催:日本保健医療行動科学会
- 6 実施主体:第5回国際保健医療行動科学会議実行委員会
- 7 共 催:「地球環境と世界市民」国際協会
プラナコーン=ラジャバト大学(タイ)
チュラロンコン大学(タイ)

プログラム(若干変更の可能性あります)

- (1日目) タイ・バンコク:ドン・ムアン空港着
8月16日(水)
-
- (2日目) エクスカーション:ピハーラ(終末期患者のための仏教系
8月17日(木) 医療施設)訪問
-
- (3日目) 【逐次通訳】
8月18日(金) オープニング・セレモニー
記念講演
於:PHRANAKHON 研究発表・ポスター発表

GRAND VIEW Hotel 【英語のみ】

会議室 A 分科会：保健医療セッション（口頭発表）
B 分科会：環境教育セッション（口頭発表）
C 分科会：保健医療ポスターセッション（ポスター発表）
D 分科会：環境教育ポスターセッション（ポスター発表）
ウェルカムパーティ

【逐次通訳】

(4日目) 基調講演
8月19日(土) シンポジウム
「健康と環境の教育 統合医療と環境教育 -」
於：PHRANAKHON サテライト・シンポジウム
GRAND VIEW Hotel A 分科会（保健医療セッション）
会議室 テーマ：市民参加型のヘルスプロモーション - 生活習慣病と
行動変容に向けて -
B 分科会（環境教育セッション）
テーマ：市民参加型の環境教育の推進 環境教育と環境保全
意欲の増進に向けて -

(5日目) 【逐次通訳】
8月20日(日) ワークショップ
A 分科会：保健医療セッション
於：PHRANAKHON コーディネーター：日本保健医療行動科学会・チュラロンコ
GRAND VIEW Hotel ン大学
会議室 B 分科会：環境教育セッション
コーディネーター：「地球環境と世界市民」国際協会・プラ
ナコーン＝ラジャバト大学
オプションツアー（バンコク観光）
フェアウェルパーティ

(6日目) タイ・バンコク：ドン・ムアン空港発
8月21日(月)

問合先 第5回国際保健医療行動科学会議・実行委員会 事務局
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1 甲南大学文学部 谷口文章研究室気付
TEL/FAX:078-435-2368 E-mail:fumiaki@konan-u.ac.jp

ネットワーク掲示板

第3回日タイ国際TV会議のご案内

1月29日(土)の国際シンポジウムのプレイベントとして第3回日タイ国際TV会議が行なわれます。

日時：2005年12月24日(土) 9:00-11:30 (9:00 セッティング、10:00 開会)

場所：甲南大学5号館5-22教室

[挨拶] 谷口文章氏（甲南大学文学部教授）

Siriwat Soondarotok 氏 (プラナコーン = ラジャバト大学教授)

Chinatat nagasinha 氏 (プラナコーン = ラジャバト大学教授)

[発表] プラナコーン = ラジャバト大学環境教育センター (EEC) の取組紹介
ゲストとして後藤綾一氏 (APN センター) も参加予定。

お問い合わせは当協会事務局までお願い致します。

第 21 回日本保健医療行動科学会学術大会のご案内

日 時 : 2006 年 6 月 17 日 (土) ・ 18 日 (日)

会 場 : 大阪産業大学

テーマ : 「ナラティブとアート」

主なプログラム : 大会長講演 「物語的思考の可能性」 中川晶氏 (大阪産業大学)
特別講演 「うつし臨床の詩学」 森岡正芳氏 (奈良女子大学)
シンポジウム 「ナラティブとアート ナラティブが変わるとき - 」
体験学習ワークショップ

[大会申込]

郵便振替にて、住所、氏名、電話番号 (または E-mail アドレス) 通信欄に振込み
金額の内訳をご記入の上、下記口座にお振込み下さい。事前の参加申し込みは 5 月
末日までをお願いします。

口 座 番 号 : 00980-2-251700 口座名 : 第 21 回日本保健医療行動科学会大会

大会参加費 : 会員 4000 円、非会員 4500 円、学生 3000 円、1 日コース非会員 3000 円

懇 親 会 : 一般 (会員、非会員) 4500 円、学生 2500 円

第 21 回大会申込先・問合せ先 : 大会事務局

〒 651-2103 ・ 神戸市西区学園西町 3-4 ・ 神戸市看護大学 吉岡研究室

Tel/Fax : 078-794-8074 ・ E-mail : yoshioka@tr.kobe-ccn.ac.jp

事務局だより

- 1 . 2006 年 1 月ならびに 8 月にそれぞれ国際会議を開催する予定にしております。
詳細につきましては、今後本誌を通じてご案内致したく予定しております。
奮ってご参加いただきますようお願い致します。
- 2 . 本協会年報の論文投稿を受け付けております。区分は (1) 研究論文 (原著論
文 / 総説) (2) 資料、(3) 報告です。年報巻末に添付しております投稿規
程にしたがって御応募下さい。
- 3 . 本協会では、環境教育に関する国際ネットワーク化の促進ならびに国際的ガイ
ドラインの構築を推進しております。国際的な情報を御提供下さいますようお
願い致します。

『地球環境と世界市民』国際協会ニュースレター No.19

事務局 : 「地球環境と世界市民」国際協会

〒 658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

甲南大学文学部人間科学科 谷口研究室内

Tel/Fax : 078-435-2368 E-mail : fumiaki@konan-u.ac.jp

Homepage : http://www.nk.rim.or.jp/~fumiaki/iaeg/iaeg_j.html